

8. その他

(1) 就学に関係する資料について

港区では、お子さんが円滑に学校生活をスタートできるよう、学校がお子さんの様子を就学前に知っておくことが大事であると考えています。そこで、以下のような資料を活用いただくことができます。

就学支援シート

- 家庭や在籍園、療育機関等での生活の様子や支援の様子などを記入し、一人ひとりのお子さんの個性を小学校に引き継ぐためのものです。
- 12月に、幼稚園・保育所・児童発達支援センターぱおを通して、次年度就学するお子さんのいる家庭に配られます。
- 港区立小学校に就学予定で、作成を希望する保護者のみ、保護者記入欄を記入し、在籍園等に就学支援シートをお渡しください。就学支援シートを受け取った在籍園等は所定欄を記入後、保護者の方にお返しします。
- 完成した就学支援シートは、保護者が就学先の学校へ直接持参してください。

就学支援シート

＊豊かな学校生活を送るために＊

就学支援シートは、ご家庭や在籍園、療育機関等での生活の様子や支援の様子などを記入し、一人ひとりのお子さんの個性を小学校に引き継ぐためのものです。保護者の方が中心となって記入していただき、小学校へ直接お持ちください。
お子さんがこれまで身につけてきた力を十分に発揮し、小学校生活を楽しくスムーズに送っていただけるよう、ぜひご活用ください。

一緒に考えていきましょう

○入学前の早い段階で、お子さんの様子を小学校に伝えてください。

○ご家庭・園・小学校とで協力し、お子さんに一緒に考えていくこと

安心してお使いください

○この就学支援シートは、港区内の幼稚園・保育園で共通の様式を使用しています。

○お子さんや保護者のプライバシー保護にも十分注意しています。

1. 成長・発達の様子

保護者記入欄 (すべての欄を記入しなくても結構です)	在籍園、発達機関記入欄 (記入者:) (別紙(様式不問)による記入も可能です)
性格・行動の特徴 ○好きなこと・得意なこと・興味・関心 ○苦手なこと ○感情・気持ち・行動の特徴 (落ち着きのなさ、衝動性、パニック、かんしゃく、こだわり、気持ちの切り替え、注意・集中、感覚過敏等) ○気になる行動 (抱っこ、泣き、噛み等) 学習・運動 ○ことば、文字 ○数(数を書くこと、ものを数えること等) ○身体の発達・動き(歩く、走る、跳く等) ○手指の動き(鉛筆やはさみ、箸の扱い方、器用性等)	
人とのかかわり ○子ども同士のかかわり、相手の気持ちの理解等 ○集団への参加 ○コミュニケーションのとり方 ○集団場面での指示理解の程度(集団の声かけが必要等)	
日常生活・健康 ○身支度、身辺自立 ○食事(偏食、食べ方、時間、形態等) ○排泄の自立 ○発作・薬物の有無	

2. これまで家庭で心がけてきたこと等
(保護者の方が記入してください)

3. これから学校生活において身につけてほしいこと、そのために家庭で行いたい工夫等
(保護者の方が記入してください)

4. これまでにお子さんのことで相談に行ったところ(病院、療育機関など)
(保護者の方が記入してください)

5. これまで大切にしていたかかわりや指導方法の工夫、入学後の配慮事項等
(在籍園、発達機関の方が記入してください。別紙(様式不問)による提出も可能です。)

就学支援ファイル

- 就学相談・進学相談を受けて保護者の方からお話いただいた内容や、在籍園・在籍校からの資料、心理検査の結果等をまとめた資料です。
- 就学相談・進学相談の中で、保護者の方の同意を得て作成します。2～3月頃を目途に就学・進学する学校へ送付し、情報を共有します。
- 学校は、就学支援ファイルの情報をもとに、新1年生の入学準備を進めます。

就学支援ファイル

フリガナ	性別	生年月日
お子さんの氏名		年 月 日
フリガナ		
保護者の氏名	お父さん 姓 名	
お子さんの姓 名	姓 名	
通 信 先	電 話 () 氏 名 ()	
〒 番 地 市 区 町 村 支 所 住 居 外 住 居 有 無 ()		

(2) みんなとCafé ひだまりについて



Q:「みんなとCafé ひだまり」とはどんな集まりですか。

A: 港区教育委員会では、特別な支援を必要とするお子さんの社会的自立を目指して保護者の方のコミュニティづくりを支援します。このコミュニティが「みんなとCafé ひだまり」です。

- 「みんなとCafé ひだまり」では、
- 保護者の方が求めている情報を提供します。
 - 保護者の方が心配や不安に思っていることを気軽に相談できます。
 - 保護者の方同士の経験を伝え合ったり情報を交換・共有したりしながらお子さんの成長と一緒に考えていけるようにします。

様々な保護者の方のニーズに応じてテーマを設定し、定期的を開催をしています。

令和6年度 開催時期と内容(予定)

7月 就学先をどのように選んだらよいだろう

9月 発達障害・発達特性をもつ子どもへの接し方、伝え方

10月 障害者雇用の実際—特例子会社の見学—

12月 就労を見据えた進学先(高校)をどのように選んだらよいだろう

1月 大人になっていく子どもへの接し方

3月 小学校入学に当たっての心がまえ

それぞれの開催が近づきましたら、港区ホームページ、緊急配信メール、幼稚園や保育園、小中学校、港区立児童発達支援センター等を通して、詳細をお知らせいたします。



お気軽にご参加ください。お待ちしております。

問合せ

港区教育委員会事務局教育人事企画課特別支援教育担当

TEL: 03-5422-1543

(3) 主な相談機関

相談機関			所在地	電話番号
港区立教育センター	心理専門の相談員 による来所相談 「教育相談室」	幼稚園、学校のことや友人関係、 ご家庭における子育てなど様々な 疑問や悩みの相談に対し、専門 の心理士がカウンセリングを行 います。	虎ノ門3丁目 6番9号(4階)	5422-1545 平日9～17時
	電話教育相談	幼稚園、学校のことや友人関係、 ご家庭における子育てなど様々な 疑問や悩みの相談に対し、電話 での相談を受け付けています。		5422-1546 平日 9～19時 土曜日9～17時
	不登校児童・生徒 の相談 適応指導教室 「つばさ教室」	学校復帰に向けて相談及び支援 を行っています。		5422-1548
港区立児童発達支援センター ぱお		お子さんの発達に関する相談や 療育を行っています。	南麻布4丁目 6番13号	6277-3106
港区子ども家庭総合 支援センター	子ども家庭支援 センター	「子ども・子育て支援サービスの 提供」と「子どもと家庭の総合相 談」の2つの機能を持ち、子ども と家庭の状況に応じた総合的な 支援を行っています。	南青山5丁目 7番11号	5962-7215 8時30分～ 平日 ～18時 土曜日～17時
	港区児童相談所	子ども一人ひとりの相談内容に 応じた助言や支援及び愛の手帳 の交付を行っています。		5962-6500 平日8時30分 ～18時

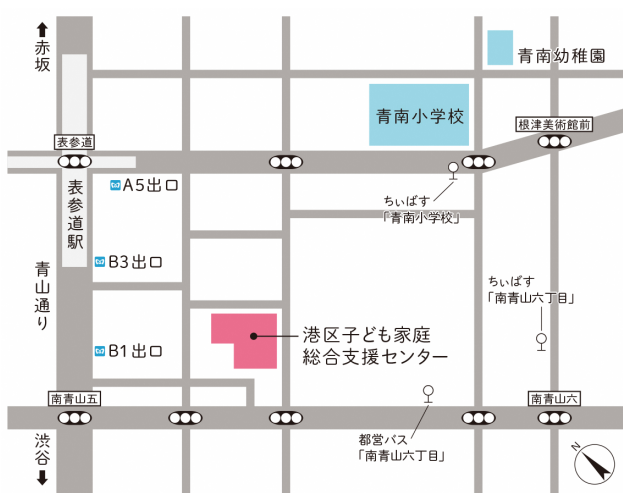
児童発達支援センター「ぱお」



○アクセス・交通手段

地下鉄・日比谷線 中目黒～北千住「広尾」駅下車
出口1・2 徒歩約10分
都バス・都06系 渋谷駅～新橋駅「光林寺」下車 徒歩約7分
都97系 品川車庫～新宿西口「光林寺」下車 徒歩7分
都バス・品97系 品川車庫～新宿西口「広尾駅前」下車
徒歩約10分
都バス・橋86系 目黒駅～新橋駅「仙台坂上」下車 徒歩約6分
ちいばす麻布西ルート
広尾～麻布支所方面「本村小学校入口」下車
すぐ

港区子ども家庭総合支援センター



地下鉄 東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線
表参道駅 B3出口 徒歩3分

バス 都営バス 渋88 「南青山六丁目」下車4分
ちいばす 青山ルート 「南青山六丁目」下車5分
ちいばす 青山ルート 「青南小学校」下車6分

港区立教育センター 案内図



住所：〒105-0001 港区虎ノ門3丁目6番9号 4階

電話：就学の相談等に関すること：教育人事企画課特別支援教育担当 5422-1543

学校の指導に関すること：教育人事企画課指導主事 5422-1541

FAX：5422-1547

<アクセス>

- ①東京メトロ日比谷線「神谷町」4b出口 徒歩5分
- ②東京メトロ日比谷線「虎ノ門ヒルズ」A2a出口 徒歩4分
- ③東京メトロ銀座線「虎ノ門」2a出口 徒歩10分
- ④東京メトロ南北線「六本木一丁目」3番出口 徒歩15分
- ⑤都バス 渋谷駅～新橋駅前「虎ノ門三丁目」下車徒歩1分
- ⑥都バス 目黒駅前～新橋駅前、品川車庫前～東京タワー「神谷町駅前」下車徒歩5分

港区の特別支援学級等と特別支援相談の御案内（令和6年度）

令和6年6月発行

編集 港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課特別支援教育担当



刊行物発行番号 2024046-7370